

越前町の津波対策について

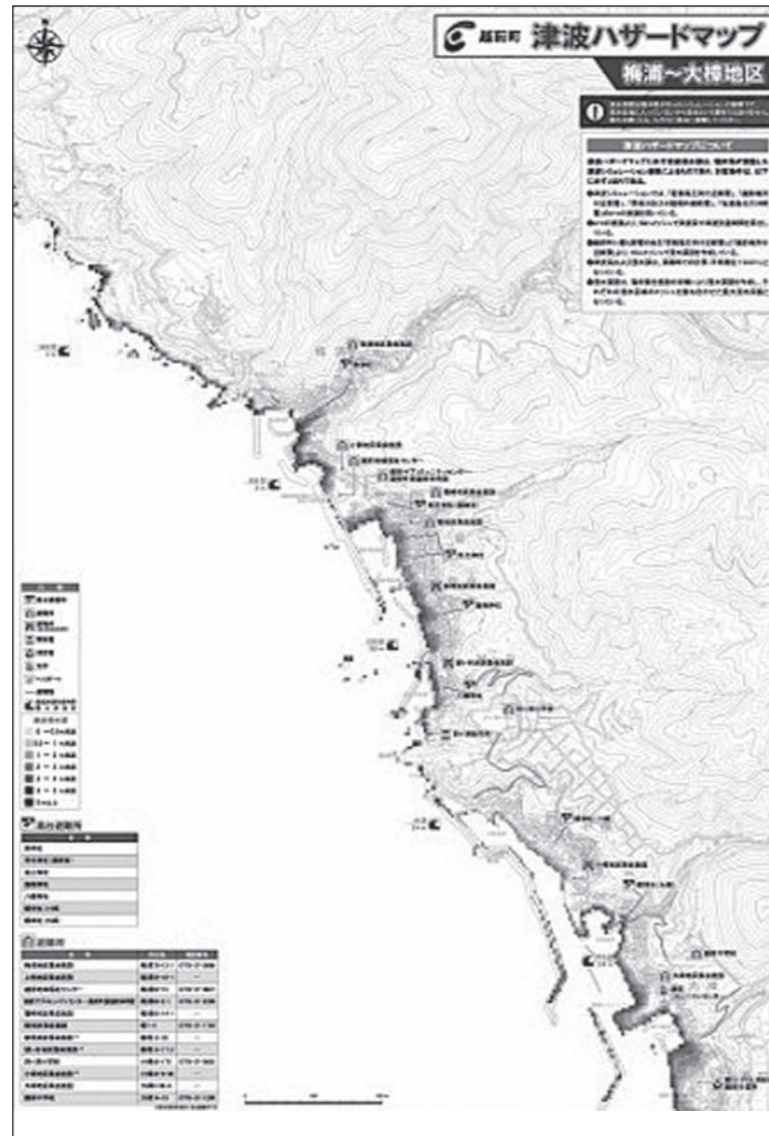
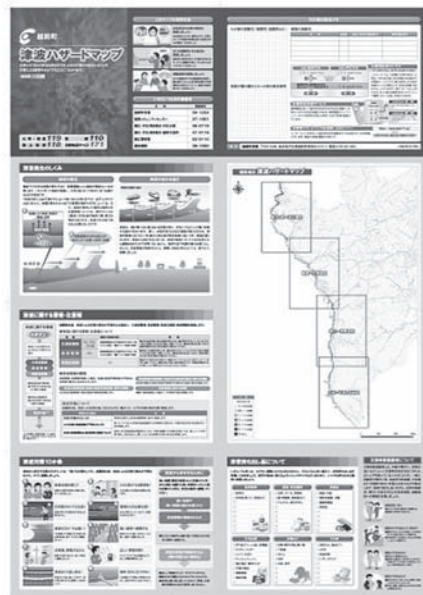
津波ハザードマップについて

津波ハザードマップは、福井県が独自に実施した津波シミュレーションの結果に基づき作成された、津波最大浸水深図データを用いて、越前町沿岸部の浸水区域を示したものです。

この津波シミュレーションは、日本海沿岸西部における活断層から最も影響のある波源4つを選定し、地震想定をマグニチュード7.28～7.99として実施しており、中でも本町に最も影響のある「若狭海丘列付近断層」、「越前堆列付近断層」の2つを選定し浸水深図などを作成しています。

また、越前町では梨子ヶ平付近が最も高くなると予想されており、**最大5.51m**（満潮時）の津波が到達するとされています。

津波ハザードマップは、越前地区沿岸部を4分割して作成していますので、自分の地域の浸水区域状況をご確認いただき、津波発生時の避難に対し、避難経路や避難場所（高台）の参考としてください。



2011年3月11日に発生した東日本大震災では、沿岸地域を巨大津波が襲い、死者・行方不明者が約2万人を数える大規模な災害になりました。

また、地震発生時は日本のすべての沿岸に大津波警報や津波警報、津波注意報のいずれかが発令されており、日本の沿岸部に津波の安全地帯がなく、どこにでも津波がくる可能性があります。

本町においても、日本海に面しており、押し寄せる津波から身を守るには避難する以外に方法はありません。町では1分1秒を無駄にしないために、福井県が実施した津波シミュレーションの結果に基づき海拔表示板や、津波ハザードマップ、幼い子どもや高齢者が高台へ避難するための避難路の整備を行いました。

海拔表示板の設置について

津波被害により浸水が予想される越前地区の沿岸地域を中心に、国道305号や町道にある電柱・側壁などを利用して、海拔表示板を95か所設置しました。

この海拔表示板は、津波の高さを表したのではなく、**それぞれの看板設置場所の地面の高さ**を海拔で表しており、地域住民や観光客の皆さんが避難する際の参考にさせていただくとともに、自分の居住場所がどの程度の海拔であるかを知っていただくものとなっています。



避難路の整備について

大きな地震が起き、「津波警報」や「大津波警報」が発令された際に、津波被害により浸水が予想される越前地区の沿岸地域住民が高台などへ避難するための避難路を、平成24年度に10か所整備しました。

避難路の入り口付近には、津波避難路の看板を設置し、地域住民や観光客の皆さんが高台にある神社などに避難できるよう、舗装工事や階段・手摺などの整備を行いました。



避難路表示看板



米ノ避難路

詳しくは、越前町役場ホームページで

<http://www.town.echizen.fukui.jp>

問合せ先 防災安全課 ☎34-8721 e-mail:bousai@town.echizen.lg.jp